

## 被爆 70 年長与町祈念事業

# 平和遺構の説明板・案内板

長与町では、被爆の実相と平和の大切さを継承していくため、原爆投下後に救護所となった長与国民学校に関する説明板と原爆受難者之墓の案内板を平成27年8月3日に設置しました。

### ○「長与国民学校（救護所）跡」説明板

【長与町武道館前に設置】

説明板は、原爆投下後の長与国民学校（救護所）の様子について説明するものです。

長与町武道館を含む敷地には、原子爆弾が投下された当時、長与国民学校（現在の長与小学校）が建っていました。学校は、爆風で窓枠や、ガラスの破片が散乱するなどの被害を受けました。教室や講堂では、長崎市から多くの負傷者が運び込まれ、村内の人々により応急手当や看護・炊き出しなどが行われました。犠牲者は主に学校裏手の皆前墓地に埋葬されたといわれています。



### ○「原爆受難者之墓」案内板

【長与町武道館裏に設置】

案内板は、原爆受難者之墓への経路を案内するもので、墓に続く階段の上り口に設置しています。

昭和42年、長与国民学校の救護所における原爆死没者の霊を弔うため、皆前墓地に原爆受難者之墓が建立されました。毎年8月9日、墓前では犠牲者の冥福と恒久平和を願い、長崎原爆被爆者の会長与支部や関係者の方々により慰霊祭が行われています。

